

# ブランディング委員会

委員長 杉谷 俊輔  
副委員長 真弓 裕也

## 1) 基本方針

1 青年会議所の魅力、意義を伝える会員拡大活動や会員の資質向上は青年会議所の未来を  
2 創るうえで欠かせません。しかし、私たちが思う魅力や意義について、会員間での理解や  
3 共感には個人差があります。より良い未来を創るには、青年会議所活動の魅力や意義を会  
4 員全員で理解し、共感する必要があります。そして、会員一人ひとりが会員拡大活動に対  
5 する主体性をもち、多くの同志を集める活動に対して、意欲を増進させる必要があります。

6 ブランディング委員会では会員の拡大意識の向上と、個人や組織の資質向上の両輪で会  
7 員全員が会員拡大活動へ主体性を持てるよう努めてまいります。会員拡大活動における会  
8 員の意識や入会促進の手法等において、形式的な拡大マニュアルではなく、会員の一人ひ  
9 とりが青年会議所の強みと存在意義を理解し、会員同志で魅力を共感し、青年会議所の想  
10 いを多くの方へ発信していきます。そして、資質向上に努めて「個」のブランディングを  
11 確立し組織のブランディングへつなげていくと共に、会員拡大活動を全会員で助け合える  
12 体制を整えます。また、会員一人ひとりが意欲的に活動できることは何かを明確にし、  
13 拡大に向けた魅力を発信できるよう意識改革を行います。2月度例会では会員の拡大意識  
14 における視野の拡張を行います。そして、会員拡大と資質向上の循環による効果を高める  
15 ため、会員拡大会議を実施し意識改革を行います。9月度例会では、青年会議所でこそ掴  
16 める成長や価値を見出し、個人、組織のブランド力を具現化することで、多くの方々へ私  
17 たちの魅力や可能性を感じていただき、多くの同志を募り、会員拡大につなげていきます。

18 ブランディングとはファンをつくることです。青年会議所は品格のある青年集団である  
19 と一人ひとりが自覚をもって主体的に行動した結果、組織は大きく成長します。四日市青  
20 年会議所は今以上にまちや地域に求められる、人に愛される組織になると確信しています。

21

## 22 2) 事業計画

23 1. 「個」のブランディングを高め組織で行う拡大活動 通年  
24 2. 2月度例会 2月 19日  
25 3. 9月度例会 9月 9日  
26 4. 対外事業窓口（献血） 1月、7月  
27 5. 出向者への支援 通年  
28 6. 同好会への支援 通年

29

30 3) 事業予算 171,000円

31

32 4) 委員会開催予定日 毎月第2火曜日

33